

■ 機関紹介 ■

はじめに

当協会は、昭和47年5月に「財団法人兵庫県環境科学技術センター」として設立された。

設立当初は、主に工場の排水や排ガスの分析・測定を行っていたが、その後、環境調査やアセスメント業務を主とした事業へシフトした。平成8年に環境保全に係る情報の普及・啓発および県民の環境活動の支援などの公益部門を受け持つ環境創造部を併設し、「財団法人 ひょうご環境創造協会」と名称変更および改組した。

現在、当協会の中核を兵庫県立工業技術センターの敷地内に置き、環境コンサルタント事業、環境調査・分析測定事業および環境保全創造事業（公益部門）を展開している。また、JR神戸駅前の神戸クリスタルタワー5階にエコプラザを開設し、環境に関する活動や交流の場として、情報の収集と提供の場として、県民に気軽に活用していただいている。

沿革

| | |
|-------|----------------------|
| 昭和51年 | 環境計量証明事業登録 |
| 昭和52年 | 作業環境測定機関登録 |
| 平成5年 | 水道法に基づく水道水質検査機関登録 |
| 平成12年 | 兵庫県地球温暖化防止活動推進センター指定 |
| 平成14年 | ISO 9001 認証登録 |
| 平成15年 | 土壌汚染対策法に基づく指定調査機関登録 |
| 平成15年 | MLAP（認定特定計量証明事業者）登録 |
| 平成17年 | ISO 14001 認証登録 |
| 平成17年 | 第2種臭気測定認定事業所登録 |

組織等

当協会の職員総数は95名であり、このうち環境調査・分析事業に60名が従事している。また、当該部門には作業環境測定士（12名）、環境計量士（17名）、臭気判定士（6名）等多くの有資格者がいる。

事業内容

1. 環境調査・分析事業
 - 1) 大気関係
燃焼排出ガス、有害大気汚染物質、室内空気中化学物質、騒音・振動、悪臭、大気質、気象など
 - 2) 作業環境測定関係

粉じん、特定化学物質、金属類、鉛、有機溶剤、ダイオキシン類、騒音など

- 3) 水質関係
工場排水、環境水、水道水、土壌、底質、産廃、魚類・プランクトンなど
- 4) 微量物質関係
ダイオキシン類、環境ホルモン、POPsなど
2. 環境コンサルタント事業
産業廃棄物処理施設、新エネルギービジョン策定および自然環境調査・保全事業に関するコンサルタント・環境アセスメント調査
3. 環境保全・創造事業
普及啓発関係・環境学習の推進関係・環境活動の支援関係・グリーン購入の促進関係・リサイクル等5R生活の促進関係・国際協力の推進関係・地球温暖化防止活動の促進、支援関係

作業環境測定の実施状況

平成18年度の実施作業場は延187作業場であり、その内訳は、ダイオキシン類36%、粉じん29%、特定化学物質20%、有機溶剤11%、その他金属類4%であった。

特色・展望

当協会の作業環境測定の特徴は、焼却設備の維持管理と焼却炉解体に伴うダイオキシン類測定の占める割合が多いことである。今後は、環境コンサルタント業務との連携強化を図ることにより、さらなる受注の確保を目指したいと考えている。

おわりに

環境調査・分析事業部門では、経験豊かなスタッフが、最新の技術を駆使しながら、「お客様のニーズに応じて、正確なデータを適正な価格で、迅速に提供します。」を品質方針に掲げ、日々精進している。

また、環境保全創造事業部門では、自然と共生する持続可能な循環型社会の実現に向けて、「参画と協働」の理念に基づき、県民、事業者、行政が一体となって取り組んでいる。

<http://www.eco-hyogo.jp/>